

平成 30 年度 神奈川総合産業高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

神奈川総合産業高等学校は、「教育委員会不祥事ゼロプログラム作成方針」に基づき、不祥事の未然防止を図るため次のとおり「不祥事ゼロプログラム」を策定・実施し、達成状況について検証を行った。

1 実施責任者 神奈川総合産業高等学校 不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭がこれを補佐する。

2 取組課題・目標・行動計画・検証結果

取組課題	目標	行動計画	検証結果
① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	公務員、特に教職公務員としての行動を自覚する。	(1) 職員会議、打合わせ等の機会を捉え、自覚とモラル向上の啓発を行う。 (2) 教育公務員としての行動規範の策定のための準備を事故防止会議として行う。 (3) 懲戒処分者の多い年代を中心に、積極的な声かけや相談体制を確立する。	打合せや職員会議において、新聞報道や各種通知、職場啓発資料等を活用して職場研修を実施し、法令遵守意識の高揚を図ることができた。
② わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為と体罰を未然に防止する。	(1) 所属教職員全員を対象に、外部講師による不祥事防止研修会を実施する。 (2) 配付された職員啓発資料をもとに、所属職員全員を対象にして職場研修を実施する。 (3) 教科準備室等の環境整備と管理職による定期的な校内巡視を実施する。	不祥事防止研修会等において、新聞報道や各種通知、職場啓発資料等を活用して職場研修を実施し、職員の自覚とモラルの向上を図るとともに、教科準備室を透明化し、不祥事の起きにくい環境を整え、事故を防止することができた。
③ 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	(1) 所属教職員全員を対象に、外部講師による人権教育研修会を実施する。 (2) 携帯電話・電子メールの適切な使用の確認とともに職員啓発資料をもとに、生徒の人権保護の観点で全員を対象にして職場研修を実施する。	全定職員合同の人権研修会を実施し、生徒理解を深めるとともに、生徒との適切な連絡方法を確認し、事故を防止することができた。
④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験、成績処理、調査書等の文書作成での事故を未然に防止する。	(1) テスト問題作成や試験後の解答用紙の取扱いを始め、単位制支援システムにおける成績入力操作、成績証明書、調査書の発行等の事故防止のために、マニュアル手順の徹底を図り、点検・確認し、必要に応じて修正・追加する。 (2) 必ず複数で点検・確認する。	職員会議等において、成績処理及び進路関係書類作成に関するマニュアルを確認し、手順や点検・確認を徹底し事故を防止することができた。

⑤	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流失や誤廃棄を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 個人情報流出防止や誤廃棄防止のための行動指針について、常に啓発を継続する。</li> <li>(2) 個人情報を持ち出す際の「個人情報持ち出し許可」や文書廃棄時の適切な申請等、手続きの徹底を図る。</li> </ul>	チェックリストによる全教職員の自己点検とサーバー内の点検を行うとともに、個人情報の管理の徹底を図り、事故を防止することができた。
⑥	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故や酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 職員啓発資料をもとに、所属教職員全員を対象にして職場研修を実施する。</li> <li>(2) 交通安全意識の向上に努める。</li> <li>(3) 交通安全に関する啓発資料等によるセルフチェックを行う。</li> </ul>	全定職員合同の交通法規遵守研修会を実施し、交通安全意識の向上を図り、事故を防止することができた。
⑦	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	不適切な業務執行を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 報告・連絡・相談を徹底し、気になることはそのままにせず、声をかけ合い協力して業務を遂行する。</li> <li>(2) 企画会議で各グループの業務状況を確認し、連携した業務運営を行う。</li> </ul>	企画会議で各グループの業務チェックとフィードバックを行い、適切な業務の執行を図ることができた。
⑧	会計事務等の適正執行	適正な私費徴収・執行を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 私費会計様式での執行の徹底を図り、適正な執行事務に努める。</li> <li>(2) 私費会計基準に基づき、私費会計担当職員を対象にして、私費会計基準の徹底を図り、また所属職員全員を対象にして、職員啓発資料をもとに、私費会計についての研修会を実施する。</li> <li>(3) 財務調査指導や私費監査の指摘事項・改善事項をもとに、報告研修会を実施し、見直しを行う。</li> </ul>	私費会計に関する研修会を実施し、私費会計基準に則った適切な会計執行に努め、事故を防止することができた。
⑨	入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故不祥事の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新しい採点手順及び方法の徹底とマニュアルに基づいた事務処理の運用により事故防止に努める。</li> <li>(2) 入学者選抜制度についての校内研修会を行い、教職員への周知徹底を図る。</li> <li>(3) 職員啓発資料などを活用して、入学者選抜に係るこれまでの事故不祥事の事例などを周知して意識啓発を行い、事故不祥事の発生を未然に防ぐ。</li> </ul>	入学者選抜業務に関する研修会を実施し、マニュアルの確認及び過去の事例を検証し、事故防止意識の高揚を図り、事故を防止することができた。

### 3 学校長の意見

平成 30 年度神奈川総合産業高等学校不祥事ゼロプログラムの行動計画に基づいて、事故・不祥事防止会議を位置づけ、研修会等を効果的に実施するとともに、全・定の打ち合せ等において新聞報道等の事例を紹介しながら、教育長通知や関係資料により、職員への注意喚起を行い事故・不祥事の未然防止に取り組んできた。

その結果、すべての項目について事故・不祥事ゼロを達成することができた。

次年度も、不祥事ゼロプログラムの行動計画に即して、事故・不祥事防止会議、研修会等を実施するとともに、職員全体のコミュニケーションを密に図り、風通しのよい職場環境を構築し、事故・不祥事を出さない職場づくりに学校全体で取り組んでいきたい。

### 4 平成 31 年度に取り組むべき課題

次の 5 項目を重点課題として取り組む。

- 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- 個人情報管理、情報セキュリティ対策
- 業務執行体制の確保等
- 会計事務等の適正執行
- 入学者選抜に係る事故防止